

企業価値を真に経営に活かす

『経営改善診断会』

90分の集中対話で

優先順位を明確にした「経営の羅針盤」を手に入れる

「事業性融資推進法」の施行により、これまでの不動産や有価証券の現在価値に加えて、ノウハウ等の企業のお金を稼ぐ力も「企業価値」として正当に評価される時代が到来しました。生成AIで情報やアイデアは容易に得られますが、企業が持つノウハウやオンリーワンの製品開発力がキャッシュを生み出すシナリオまでは十分に語ってくれません。新しい時代の幕開けにあって、「結局、自社は今、何を選択すべきか」根拠をもって決断するにはどうすればよいでしょうか。

本経営改善診断会は、中小企業診断士とデザイン経営パートナー(大阪デザインセンター認定資格)のダブルライセンスを有する経営改善診断のプロが、90分で貴社の現状を解きほぐす、いわば「経営の棚卸し」の場です。対話を通じて複雑に絡み合った課題を構造化し、意思決定の拠り所となる「経営改善診断レポート」をお渡しします。

まずはこの経営改善診断会を通じて、考えが止まっている現状を整理し、客観的な根拠に基づいた判断で次の一手を打ち出しませんか。



2026.

7/29【水】

- ① 10:00-11:30
- ② 13:00-14:30
- ③ 14:30-16:00

会場

大阪デザインセンター内

定員

各回1社(全3社)

経営改善診断費用 11,000円(税込)/1回あたり

本経営改善診断会は、単なるヒアリングではなく、課題を整理し意思決定に使える形まで落とし込みます。

本診断会は「経営の棚卸し」の場です。

複雑に絡み合った課題を、**経営改善診断のプロ**が対話で解きほぐし、意思決定の拠り所となるレポートをお渡しします。

これは「ヒアリング」ではありません

課題を構造化し、意思決定に使える形まで落とし込むプロセスです。

【下記内容に1つでも当てはまる方は、是非お申し込みください】

「決断」の根拠が欲しい



生成AIでアイデアは出したが、自社の強みや「企業価値」に照らして、今、何を優先すべきか決めきれない。

新制度への備えを始めたい



「事業性融資推進法」の施行を見据え、自社のノウハウや顧客基盤を「評価される資産」として一度整理しておきたい。

収益改善の糸口を見つけたい



コスト高や人手不足による売上低迷に直面するが、できるコストカットは全て実施してきた。得意先の理解を得た価格の引き上げや製品、サービスの高付加価値化等の「攻めの経営」への転換を探っている。

資金改善・計画の見直しを急いでいる



ゼロゼロ融資の返済や金利上昇局面を迎え、現在の事業計画が実態に合っているか、プロの視点で客観的にチェックしたい。

「思考の停滞」を解消したい



課題が多すぎて何から手をつけるべきか分からず、社内議論も空転気味。経営の棚卸しを行い、迷いなく動ける状態にしたい。

【得られるもの(成果物)】

経営判断に使える
経営改善診断レポート



- 現状の課題構造の整理
- 優先すべき課題の明確化
- 次に取り組むべき方向性

●日時 **7/29【水】**

- ① 10:00-11:30
- ② 13:00-14:30
- ③ 14:30-16:00

●会場 **大阪デザインセンター内**

●定員 **各回 1社 (全3社)**

経営改善診断費用 11,000円 (税込)/1回あたり

本経営改善診断会は、単なるヒアリングではなく、課題を整理し意思決定に使える形まで落とし込みます。

詳細・お申込

定員になり次第受付終了となります。お早めにお申し込みください。

フォームに必要事項を入力し、お申し込みください

お問合せ先：一般財団法人大阪デザインセンター TEL：06-6265-2260 E-mail：odc@osakadc.jp

